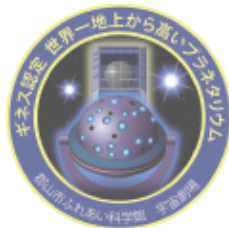


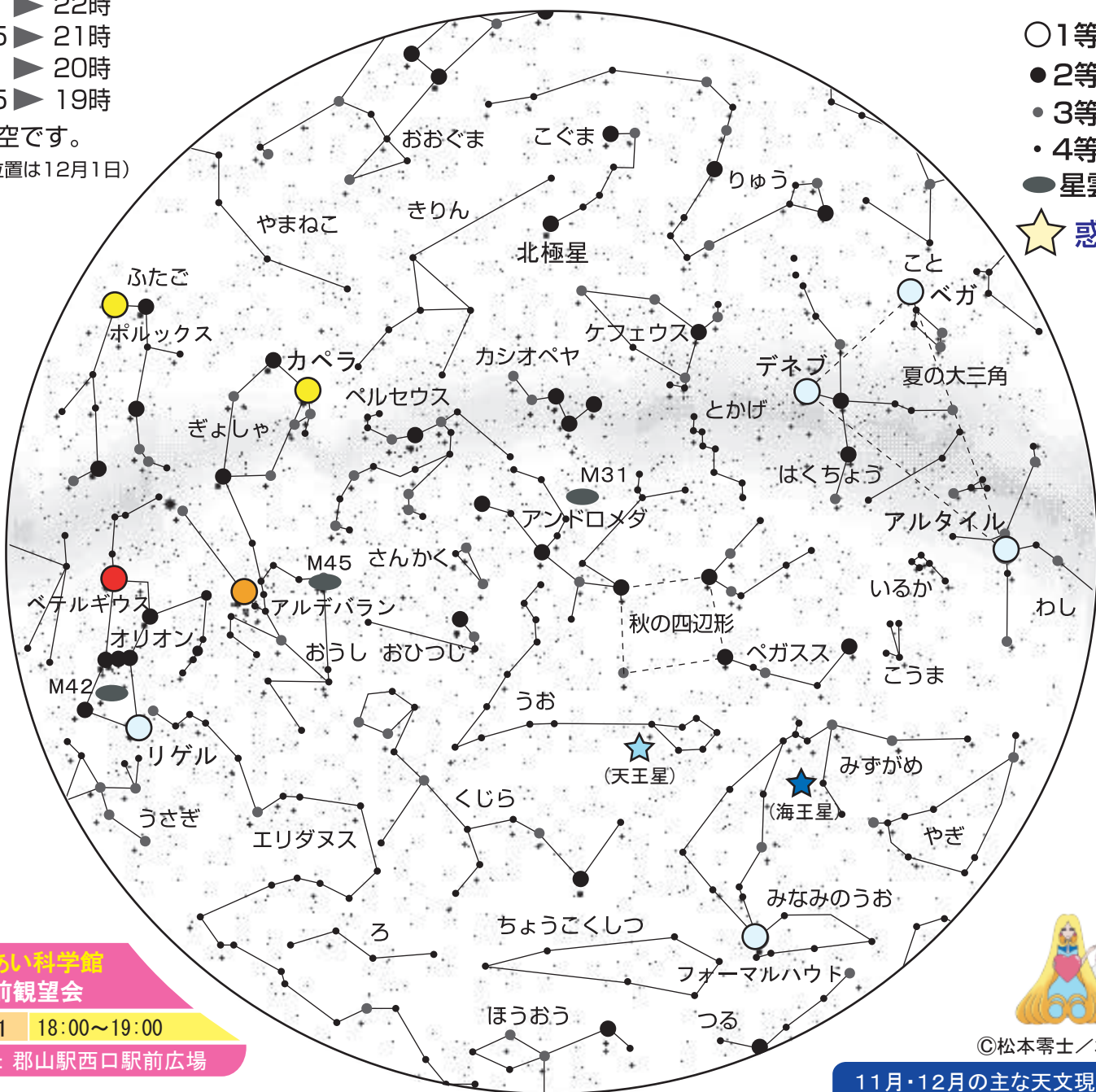
2014年

11月▶12月の星空



- 1等星
●2等星
●3等星
●4等星以下
●星雲星団
★惑星

この図は
11/ 1 ▶ 22時
11/15 ▶ 21時
12/ 1 ▶ 20時
12/15 ▶ 19時
頃の星空です。
(惑星の位置は12月1日)



ふれあい科学館
駅前観望会

11/ 1 18:00~19:00

場所：郡山駅西口駅前広場



©松本零士／郡山市

郡山の日の出・日の入

月の満ち欠け

11/ 1	6:02	16:47
11/15	6:16	16:36
12/ 1	6:31	16:29
12/15	6:42	16:30

新月	11/22, 12/22
上弦	11/29, 12/29
満月	11/ 7, 12/ 6
下弦	11/15, 12/14

※上弦、下弦は半月です。
※天王星、海王星は肉眼では見えません。

11月・12月の主な天文現象

11/ 1	水星が西方最大離角
11/18	しし座流星群が極大
12/14	ふたご座流星群が極大
12/22	冬至

2014年も終わりを迎える時季となりました。夜空では秋の星たちが主役として輝いています。秋の星空は他の季節と比べると地味な印象を持たれますが、頭の真上には「秋の四辺形」、南西の空の低いところには秋唯一の一等星「フォーマルハウト」が目を引きまします。また、アンドロメダ座とペルセウス座をはじめとする秋の星座は、古代エチオピアの王族と勇者ペルセウスの神話を通して楽しむこともできます。その様子は空全体が絵本になったかのようです。

秋の四辺形からつながるアンドロメダ座のところには「M31（アンドロメダ銀河）」が空の条件の良いところでは淡く見られます。アンドロメダ銀河は3千億もの星が集まってできている、私たちの銀河系の近くにある大銀河です。近いと言っても約230万光年という距離にありますので、見えている星よりはるか彼方にあります。これが肉眼で見ることができる最も遠い天体と言えるでしょう。アンドロメダ銀河を探しながら遠い宇宙に思いを馳せてみるというのもすてきですね。このアンドロメダ銀河については、11~12月のプラネタリウム番組でもご紹介していきます。

この時季は、「しし座流星群」や「ふたご座流星群」などの流星群も見られます。暖かい格好で空を見上げてみるとすてきな流れ星とも出会えるでしょう。

